

「優しさと強さ」

新しい年が明けて早くも1ヶ月が過ぎようとしています。クリスマス寒波の後には比較的雪も少なく穏やかな日々が続いていましたがここ数日間は厳しい寒さが続いています。暦の上ではまもなく立春ですがまだまだ厳しい寒さが続きます。皆様くれぐれも健康に留意されてお過ごしください。私は今年のお正月に家族で陸前高田、大船渡に1泊で行って来ました。東日本大震災後になかなか出向くことが出来なかった地でした。陸前高田市では道の駅に立ち寄りました。防波堤から見る海は寒かったですが美しかったです。津波によって松林はありませんでしたが新たな松が植えられていました。これから長い時間をかけて成長していくのでしょうか。宿泊は大船渡温泉に宿をとりました。震災後に出来た新しい温泉宿でしたが、美味しい海鮮料理と温泉に入って久しぶりに家族でゆっくりと過ごす事が出来ました。一番感激したのは朝に部屋から見た日の出の美しさでした。

話は変わりますが、朝日新聞の天声人語(2023年1月26日)に先日首相の座を降りたニュージーランドのアーダーン氏の事について書かれていました。

アーダーン氏の人生の価値観、政治家としてのポリシーは「優しさと強さは両立する」でした。自分の子どもには「人に優しく」と教えながら政治家として無慈悲にふるまうのはおかしい。首相として5年半の任期でしたが、主任当初は国民からも高い支持を得て、世界からも注目されて

いましたが、次第に支持が下がり2年ほど前からアーダーン氏への暴力をあおるような発言が急増しているそうです。そして、アーダーン氏はついに辞任に追い込まれてしまいました。「優しく強く」在り続ける難しさを思ったと記事には書かれていました。私は「優しい人」が大好きです。そして本当に強い人は優しい人だと思っています。しかし、実に難しいですね。イエス様は私たちを照らす「義の太陽」です。人々から罵られ裏切られても最後まで「優しさと強さ」の中で生きられたお方です。大船渡でお正月に見た美しい日の出を見ながら今年もイエス様と共に歩いていこうと心新たにしました。

(司祭 越山哲也)

